



平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社 フジコー

上場取引所 東

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 佐藤 陵枝

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日

平成30年3月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	1,744	9.9	134	41.4	114	43.1	72	41.6
29年6月期第2四半期	1,934	44.2	230	59.1	201	52.2	123	55.4

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 72百万円 (54.1%) 29年6月期第2四半期 157百万円 (127.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	15.90	
29年6月期第2四半期	28.62	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	6,071		2,162			35.6
29年6月期	6,405		2,329			33.4

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 2,162百万円 29年6月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		6.00		6.00	12.00
30年6月期		6.00			
30年6月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,340	0.7	150	34.4	120	33.5	50	40.0	11.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期2Q	4,541,000 株	29年6月期	4,541,000 株
期末自己株式数	30年6月期2Q	123 株	29年6月期	123 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期2Q	4,540,877 株	29年6月期2Q	4,324,210 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間における取り組みとして、建設系リサイクル事業につきましては、がれき類破碎施設の新規許可取得及び既存施設の許可品目追加を目的とした変更許可申請の手続きを進めてまいりました。また、組織強化と柔軟な対応が可能となるよう、管理職の教育研修を強化するとともに、受入時のサービス向上に注力してまいりました。引き続き、焼却施設及び発電施設の稼働率向上及び処理能力の安定化に取り組むとともに、リフォーム工事から発生する廃棄物の収集運搬事業の受注拡大に努めてまいりました。食品系リサイクル事業においては、液状化飼料の新規販売契約の拡大、白蟻解体工事においては、平準的な工事件数が確保できるように新規取引先を含め、受注拡大に向けた営業強化を実施しております。森林発電事業は、営業体制の強化により電力小売事業の受注拡大に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は1,744百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

売上原価は1,495百万円（前年同期比4.9%減）となり、リサイクル事業及び白蟻解体工事においては外注費及び維持管理費が前年同期比で減少しております。森林発電事業は木材仕入費及び人件費が前年同期比で増加しております。売上総利益は248百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

販売費及び一般管理費は113百万円（前年同期比14.4%減）となり、営業利益は134百万円（前年同期比41.4%減）、経常利益は114百万円（前年同期比43.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72百万円（前年同期比41.6%減）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

① 建設系リサイクル事業

建設系リサイクル事業は、既存取引先に加え、新規取引先からのご支持をいただき建設系廃棄物及び流通、倉庫、工場等から発生する非建設系廃棄物の旺盛な需要がありましたが、焼却施設等の経年劣化による補修工事が重なり、取引先との調整を行いながら受入制限を実施する結果となりました。効率的な分別等により稼働率の向上等に注力する事により、受入時の迅速化を進め、多くの取引先の期待に応えられるよう努めてまいりました。全般的な受入数量につきましては、発電施設は法定点検による停止期間がありましたが、概ね前期並みとなりました。焼却施設の受入数量は前年同期比13.5%減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は771百万円（前年同期比18.9%減）、売上原価は681百万円（前年同期比8.4%減）となった結果、売上総利益は90百万円（前年同期比56.7%減）となりました。

② 食品系リサイクル事業

食品系リサイクル事業は、再資源化センターでの合計受入数量は前年同期比で14.5%減少するとともに、販売先の肥育頭数の減少等により、液状化飼料の販売数量は11.7%減少しております。一方、液状化飼料の新規受入先の開拓を進めてきた結果、新規販売先の契約が見込まれるため、第3四半期より販売数量が増加する見込みです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、養豚事業を譲渡したこと等により85百万円（前年同期比35.0%減）、売上原価は75百万円（前年同期比33.7%減）となった結果、売上総利益は10百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

③ 白蟻解体工事

白蟻解体工事は、解体工事につきましては、高額工事が減少しております。白蟻工事は新築工事が若干増加しておりますが、既存工事件数が減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は95百万円（前年同期比18.2%減）、売上原価は92百万円（前年同期比12.3%減）となった結果、売上総利益は2百万円（前年同期比73.6%減）となりました。

④森林発電事業

森林発電事業は、発電燃料となる木材が原木に加え、製材工場から発生する背板及び端材並びにチップの受入数量が増加しているため、多様な材料に対応した燃料供給工程の効率化に注力してまいりました。また、原木の乾燥を促進するため新たな貯木場の設置準備を進めてまいりました。電力小売りにつきましては、家庭向けの低圧は契約が想定通り進んでおりませんが、高圧につきましては新規契約が計画を上回っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は790百万円（前年同期比7.7%増）、売上原価は645百万円（前年同期比6.1%増）、売上総利益は145百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて334百万円減少し、6,071百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、㈱一戸フォレストパワー優先株式の追加取得等により現預金が減少したため、前連結会計年度末に比べて186百万円減少し、1,469百万円となりました。固定資産については、減価償却等により前連結会計年度末に比べて147百万円減少し、4,601百万円となりました。

流動負債については賞与の支給等により、前連結会計年度末に比べて27百万円減少し、1,148百万円となりました。

固定負債については借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べて139百万円減少し、2,760百万円となりました。

純資産については、㈱一戸フォレストパワー優先株式の追加取得等により、前連結会計年度末に比べて167百万円減少し、2,162百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて67百万円減少し668百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における活動毎のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は358百万円（前年同四半期は624百万円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益106百万円及び減価償却費231百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は62百万円（前年同四半期は44百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は364百万円（前年同四半期は100百万円の獲得）となりました。これは主に㈱一戸フォレストパワー優先株式の取得による支出212百万円、新規借入による収入300百万円、借入金の返済による支出385百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年8月8日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成30年1月31日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,548	719,598
売掛金	406,932	402,967
たな卸資産	297,025	266,823
その他	174,396	80,872
貸倒引当金	△640	△589
流動資産合計	1,656,263	1,469,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,849,529	2,872,234
減価償却累計額	△926,671	△973,942
建物及び構築物（純額）	1,922,857	1,898,292
機械装置及び運搬具	4,538,427	4,504,717
減価償却累計額	△2,258,164	△2,390,176
機械装置及び運搬具（純額）	2,280,263	2,114,540
土地	271,166	271,166
その他	40,499	49,480
減価償却累計額	△33,093	△34,093
その他（純額）	7,406	15,387
有形固定資産合計	4,481,694	4,299,386
無形固定資産	14,373	19,266
投資その他の資産		
投資その他の資産	253,335	283,112
貸倒引当金	△3	-
投資その他の資産合計	253,332	283,112
固定資産合計	4,749,400	4,601,765
資産合計	6,405,663	6,071,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,068	218,500
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	502,211	527,099
未払法人税等	36,457	47,280
その他	206,736	155,995
流動負債合計	1,176,474	1,148,876
固定負債		
長期借入金	2,623,712	2,513,328
資産除去債務	109,624	109,777
その他	165,894	136,949
固定負債合計	2,899,231	2,760,054
負債合計	4,075,706	3,908,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,873	629,873
資本剰余金	718,861	694,539
利益剰余金	793,182	838,153
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,141,857	2,162,506
非支配株主持分	188,099	-
純資産合計	2,329,957	2,162,506
負債純資産合計	6,405,663	6,071,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,934,952	1,744,075
売上原価	1,571,853	1,495,429
売上総利益	363,099	248,646
販売費及び一般管理費	132,761	113,653
営業利益	230,338	134,993
営業外収益		
受取利息	6	17
受取家賃	3,900	-
施設運営収入	2,032	889
業務受託料	563	555
その他	968	1,034
営業外収益合計	7,471	2,496
営業外費用		
支払利息	18,779	16,985
支払手数料	5,938	5,976
株式交付費	8,855	-
その他	3,047	135
営業外費用合計	36,621	23,097
経常利益	201,188	114,393
特別利益		
固定資産売却益	92	3,060
特別利益合計	92	3,060
特別損失		
固定資産除却損	4,356	11,333
特別損失合計	4,356	11,333
税金等調整前四半期純利益	196,924	106,121
法人税、住民税及び事業税	33,396	30,710
法人税等調整額	6,041	3,194
法人税等合計	39,438	33,905
四半期純利益	157,485	72,215
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,723	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	123,761	72,215

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	157,485	72,215
四半期包括利益	157,485	72,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,761	72,215
非支配株主に係る四半期包括利益	33,723	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	196,924	106,121
減価償却費	261,043	231,165
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△64	△53
受取利息及び受取配当金	△6	△17
支払利息	18,779	16,985
固定資産除却損	4,356	11,333
有形固定資産売却損益 (△は益)	△92	△3,060
売上債権の増減額 (△は増加)	11,650	2,959
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,879	30,201
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,432	△12,567
未収消費税等の増減額 (△は増加)	241,623	25,837
その他	△8,517	△55,085
小計	696,385	353,818
利息及び配当金の受取額	6	17
利息の支払額	△18,319	△16,863
法人税等の支払額	△53,126	△28,010
法人税等の還付額	-	49,354
営業活動によるキャッシュ・フロー	624,945	358,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,654	△53,152
その他	△2,353	△8,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,008	△62,059
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	350,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△451,407	△385,496
株式の発行による収入	251,950	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30,600	△38,856
配当金の支払額	△19,343	△27,432
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△212,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,598	△364,207
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	681,535	△67,950
現金及び現金同等物の期首残高	324,871	736,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,006,407	668,098

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	952,029	132,020	116,778	734,123	1,934,952	-	1,934,952
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	952,029	132,020	116,778	734,123	1,934,952	-	1,934,952
セグメント利益	207,778	18,027	11,275	115,026	352,107	△121,769	230,338

(注) 1. セグメント利益の調整額△121,769千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	771,857	85,790	95,497	790,930	1,744,075	-	1,744,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	771,857	85,790	95,497	790,930	1,744,075	-	1,744,075
セグメント利益	90,034	10,164	2,980	137,416	240,596	△105,602	134,993

(注) 1. セグメント利益の調整△105,602千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。